

危険なオスプレイの木更津配備反対 安保中央の防衛省要請・交渉へ参加を

陸自オスプレイが木更津に飛来・配備（7月10日）



政府・防衛省が米国から購入した陸自オスプレイの木更津駐屯地への配備が7月10日から開始されました。防衛省の説明では9月から試験飛行をおこない、11月からは飛行範囲を首都圏・関東一円に拡大するとしています。

東京の横田基地には、米空軍特殊作戦部隊のCV22 オスプレイが配備されています。沖縄・普天間基地のオスプレイの飛来

や米海軍横須賀基地へ配備予定のCMV オスプレイなどと合わせ、首都圏・関東一円の住民の安全は重大な脅威にさらされます。

これらの問題について、防衛省は飛行ルートなどに関する情報を明白にしません。陸自オスプレイ配備撤回を求めるとともに、飛行訓練が強行された場合を踏まえて、住民の安全を守るための防衛省への要請・交渉を下記によりおこないます。要請項目は別記。

是非、要請・交渉の参加をお願いします。

1. 日時 9月30日(水)午後2時～
2. 場所 衆議院第1議員会館第5会議室
※午後1時30分から会館玄関で
通行証を配布します。
3. お願い 各団体からの参加者については
9月25日までに安保破棄中央実行
委員会に報告してください。

木更津配備のオスプレイに関する要請

陸上自衛隊が米国から購入したオスプレイの木更津駐屯地への配備が7月10日に開始されました。防衛省の説明によれば、9月から試験飛行を行ない、11月からは飛行範囲を関東一円に拡大するとされています。

オスプレイは、1991年から2000年までの開発試験段階に4回の重大事故で32人が死亡し、量産決定後の2007年からの2017年の間に7回の重大事故で10人が死亡し、これまでに少なくとも42人の命を奪っています。このような「世界に知られた欠陥機」を購入し、住宅地などの上空を飛行させることは許されません。

木更津への配備は5年間の「暫定」とされていますが、防衛省は5年以内について「目標」としており、確約ではありません。

東京の横田基地には米空軍特殊作戦部隊のCV22 オスプレイが配備されており、沖縄・普天間基地のオスプレイの飛来、米軍横須賀基地へ配備予定のCMVオスプレイなどと合わせ、首都圏・関東住民の安全は重大な脅威にさらされます。

私たちは、当面、次の緊急課題について実現を求めます。

記

1. 陸自オスプレイの木更津駐屯地への配備を撤回すること。
2. 千葉県及び関東一帯での飛行、特に住宅、学校、幼稚園・保育所、病院などの上空の飛行は行なわないこと。
3. 関係自治体が要望する、飛行に関する情報を事前に周知すること。

以上

「変更申請不許可に」意見書52人が提出

「第20回戦争展 in 江戸川」が9月12日・13日、江戸川区船堀タワーホール展示室で開催され、2日間で900人を超える人が参加しました。沖縄県名護市の辺野古新基地建設の「設計概要変更申請書」に係わる利害関係人の意見書に52人が記入・提出してくれました。また日米地位協定抜本的改定のマンガにして解説した「屈辱の地位協定」に足を止める人が多くいました。引き続き、辺野古工事変更申請に対する「意見書」を提出するようとりくんでいきます。(えどがわ平和委員会より)

陸自第1空挺団 今年3回目の米軍機から降下訓練強行

陸上自衛隊第1空挺団は9月15日、習志野演習場で米軍機からの空挺降下訓練を強行しました。約2時間遅れで高度300~400mから約100人の隊員が演習場内に着地。夜間は7時過ぎから始まり、約60人が降下しました。降下訓練は、今年に入って3回目の米軍機からの降下になります。まさに日米軍事一体化の象徴といえます。問題なのは、防衛省は8月26日に関係自治体に通知したにもかかわらず、公表を控えることを要請したことは、住民無視の姿勢で許されません。(安保千葉、紙谷敏弘氏の報告要約)